

もぐし海のこども園 えんだより 令和4年6月号



新緑も濃くなり、地面を覆うように枝葉が伸びてきました。イチゴの季節が終わりに近づき、青かった梅の実が熟し始めます。季節の変わり目は天気教えてくれます。6月の梅雨入りは、水の喜びと恵み与えてくれます。子どもたちは、梅雨の時期に水を知り、太陽のありがたさを感じることでしょ。生活に慣れはじめ、ゴタゴタした時期も終わりに近づきます。雨が降り始めたことを合図にするかのように、遊びも拡がり始めます。水という素材で表出を繰り返し、表現へとつながります。今月は室内環境の見直しと、衛生管理について取り組みます。



6月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 身体測定	2	3	4 歯と口の衛生週間 (~6/10)
5	6	7	8	9	10	11
世界環境デー		避難訓練		交通安全教室 (4・5歳児)	時の記念日	
12	13	14	15	16	17	18
茂串白浜 クリーン作戦 (地区行事)				歯科検診 (全園児)		
19	20	21	22	23	24	25
		夏至 キャンドルナイト		おたんじょう会	交通指導	
26	27	28	29	30		

土が変わると遊びも変わる

子どもの遊ぶ姿は、素材選びの大切さを教えてくれます

5月3日に園庭整備が終了しました。熊本市の城南町から運ばれた、きめ細かい天日干した赤土は、遊び方が変わるほどの素材となりました。これまでは園庭散策から遊びが始まっていましたが、5月はまず土で遊ぶようになりました。水と混ざったトロトロの赤土は、触感が柔らかく、肌を包むような感触です。昨年までは五和町二江産の赤土でした。苗床に使用される城南町産、庭木などを植える際に使用される二江産。人も植物も、幼少期と成人してからの生育環境は異なり、成長するために必要な情報と素材は違うということを感じられます。



6月は「水」の季節です。水は、生命を生み、生命を育みます。子どもは本能的に水を喜ぶ。そして、心が開かれ自由を獲得し、心に安らぎを感じます。自由自在に変化する水は、他の自然物との関わりを中心にあり、水を知るとは遊びの拡がりや深まりにもつながります。水を全身で感じながら、砂で水路を作り、土と混ぜトロトロにしたり、塊を作ったり、木を浮かべたり、石にかけたり、遊びのきっかけを探り始めます。こうした遊びや行為を繰り返し、造形物が生まれていきます。

「水と土が混ざる=絵の具」
自然素材に充分関わり、性質を知ると表現につながります。水遊びが中心になると絵具は水っぽくなります。季節や素材の違いは、表現方法や造形活動にも現れます。



【JCI熊本ブロック協議会サステナブル推進会議】様より積み木をいただきました

SDGs推進事業「森のおくりもの〜つみきでつなぐSDGs〜」の実施に伴い、家具製作に際に出る小国杉の端材を使用した積み木をいただきました。手触りが優しく木目がとても美しい積み木でした。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

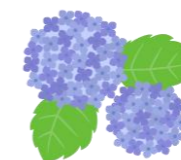


今年の夏至に考えること・・・

一年のうちで一番昼が長くなる二十四節気の「夏至」。太陽のエネルギーを取り込み、心身共にリセットしたいところです。体内の過剰な湿気を取り除き、梅雨明けに備えて体調を整えましょう。夏至と冬至に合わせ、「100万人のキャンドルナイト」が開催されています。2003年に始まったこの動きは一人ひとりがゆっくりと考える時間を持つことを提唱。以前は園でも呼びかけていましたが、今年取り組み直したいと思います。季節のリズムに注目し、いつもと違う時間を家族で過ごしてみましよう。

7月の行事予定

6/27~7/7 七夕飾りつけ週間
7/13~15 お泊り保育(さくら組)
7月下旬 保育参観・子育て講座(予定)



8月の行事予定

8/13~15 お盆に伴う希望保育

